

山岳随筆の達人であった英文学者田部重治

(越中人譚第 15 号所収)

◇著 作

- 日本アルプスと秩父巡礼 北星堂 1919 (日本の山岳名著 [8] 大修館書店 1975
に復刻) 786.9-186-8
山と溪谷 第一書房 1929 T786-513 (新編の岩波文庫本もあり 786.9-278)
欧州文芸復興史 人文書房 1931 230.5-11
峠と高原 大村書店 1931 786.9-82 (1938 年の新潮社版もあり 786.9-15)
中世欧州文学史 第一書房 1932 (1943 年版 902-3)
山への思慕 第一書房 1935 (1940 年版 786.9-34)
山と随想 新潮社 1939 786.9-19 (改訂版の新潮文庫本あり 786.9-19-A)
ふるさとの山々 第一書房 1941 (1944 年の六合書院版あり 786.9-53)
忘れえぬ山山 第二書房 1959 786.9-93
ベィターの作品と思想 北星堂書店 1965 930.28-36
わが山旅五十年 桃源社 1964 T786-108 (1996 年の平凡社版もあり
T786-399)
わが詩わが歌 田部重治先生詩歌集刊行委員会 1974 T910-19 など多数あり。

◇人物論

- 人物特集 田部重治のすべて (山と高原 339 号 1965.3)
田部重治論 石橋保 (山書研究 5 号 1966.1 p 35-43) T289-タ14-2
田部重治氏 茶谷東海 (山岳 68 年号 1974.4 p 132-138) T289-タ14-1
特集・田部重治 (とやま文学 11 号 1993.5 p 214-281) TZ9-49
田部重治の登山と文学 五十嶋一晃 (山岳 93・94 年号 1998-1999)
ほかに多数の資料に記述あり。

略歴【田部重治 たなべじゅうじ】

- 明治十七年(一八八四)八月四日、新川郡山室村東長江(現富山市)の農家南日喜平の三男として生まれる。(長兄南日恒太郎・次兄田部隆次)
■明治三十年(一八九七)富山中学校に入学。
■明治三十五年(一九〇二)第四高等学校に入学。
■明治三十六年(一九〇三)母病没。田部家と養子縁組。
■明治三十九年(一九〇六)東京帝国大学英文科に入学。
■明治四十二年(一九〇九)郁文館中学の英語教師、天台宗大学中部・中央大学夜間部の英語講師となる。
■明治四十五年(一九一〇)東洋大学教授となる。海軍経理学校の英語講師となる。
■大正八年(一九一九)『日本アルプスと秩父巡礼』を刊行。
■大正十一年(一九二二)法政大学教授となる。
■昭和四年(一九二九)『山と溪谷』を刊行。この頃から日本アルプスや奥秩父などへの先駆的登山は影をひそめ、峠や高原への山歩きが増え、全国各地へ山旅を始める。この頃の著作は約七十冊に及ぶ。
■昭和六年(一九三一)日本山岳会の評議員となる。
■昭和二十五年(一九五〇)日本山岳会名誉会員に推挙。
■昭和三十六年(一九六二)日本ベィター協会会長に就任。
■昭和三十八年(一九六三)秩父鉄道により雲取山に田部重治のレリーフが建立される。
■昭和三十九年(一九六四)『わが山旅五十年』を刊行。
■昭和四十七年(一九七二)九月二十日逝去。享年八十八歳。